

# ESD<sup>2</sup> 実践・技術 & 学術

EMC設計イノベーション.com 代表 林 克彦  
2023年2月



## ○本テキストの適用

- ロボット、可動部を有する装置の突発な不具合対策
- 静電気が疑われる際の検討
  - ← 対策の考え方
- 対静電気でもカ設計で考慮すべき事項
  - ← メカ設計者・EMC技術者間のコミュニケーションの促進

基本的にメカ設計の段階で課題すべき  
しかし・・・現象は物理学的 / 電磁気学的

## ○概要

□火花放電の発生を抑制するための静電気設計,それがESD<sup>2</sup>

(ESD<sup>2</sup>: ESD Design for No spark discharge)

□ESD<sup>2</sup>を理解するための背景・学術 ～最小限の静電気学～

□～帯電に関わる物理学・電磁気学～

□～火花放電～

□ESD<sup>2</sup>の実践

□静電気のその他の作用

## ～ご希望の方～

- 当社ホームページ“お問い合わせ”よりご連絡下さい。
- 当方より見積りをお送りします。
- 本テキストの発注書、又は代金の振り込みを確認した後、当方よりテキスト(pdf)及びテキストのKey- Codeをお送りいたします。
- 本テキストご購入後、約 1 カ月の間テキストの内容に関するご質問をお受けすることができます。
- 料金振込後の解約につきましては、ご指定の口座に当方の振り込み手数料を差し引いた金額を振り込みます。
- テキスト/Key- Code発送後の料金の払い戻しはできません。
- Key- Codeの再発行は対応しかねますので大切に保管してください。

## ※本テキストの取り扱いに関します厳守・免責事項

- 本テキストの図表・文章・写真等、一切の無断転載を禁止します。
- 本テキストの著作権は当社（EMC設計イノベーション.com）に帰属します。
- 本テキストをコピー・入力等で複製・掲載することは、社内用・社外用を問わず当方の承諾無しにはできません。無断複製は損害賠償、著作権侵害の罰則の対象となります。
- インターネットの検索等で見つかるような場所(クラウドやファイルサーバ等)で本テキストを保管しないでください。
- 当社のテキストのご利用者様が開発・設計される機器へ本テキストの技術を適用される場合は、ご利用者様の責任にて適用・実施を頂きますようお願い申し上げます。
- 知的財産権等につきましても、ご利用者様が事前に調査されることをお願い致します。
- 当社のテキストの技術適用によりご利用者様に生じます損害・費用・損失・責任についての申し立てにつきましてはご容赦願います。